



理事長年頭挨拶

愛知県バドミントン協会
理事長 山田 順一郎



新年明けましておめでとうございます。

令和2年を迎えいよいよ東京2020オリンピック、パラリンピック開催の年に突入いたしました。

絶好調の男子シングルの桃田選手、メダル候補者が目白押しになっている女子ダブルス、さらに男子ダブルス、女子シングルス、ミックスダブルスの各種目でも日本人選手がワールドランキングのベスト4に入っており、メダルラッシュが期待され、今から胸のときめきを感じます。しかし、選手にとっては4月30日のワールドランキングで出場資格が決まるため、これからの4か月間が最後のデッドヒートとなることは間違いないと思います。現在ジュニアのナショナル代表に5名を輩出しています本県におきましても1日も早い本県からのオリンピック選手の誕生を期して止みません。

順風満帆の日本選手の活躍のおかげもあり、昨年11月10日刈谷市ウイングアリーナで開催されましたJTB S/Jリーグ2019刈谷大会では会場がほぼ満杯になる2,500名の観客のもと盛大に開催されました。皆様のご協力に感謝いたします。

最後になりましたが、令和2年が皆様におかれましても、そして愛知県バドミントン協会においても、日本のバドミントン界においても最良の年になりますことを祈念いたします。

第135回中日楯争奪令和元年度秋季愛知県新人バドミントン大会

8月25日、9月1、8日の3日間にわたり3会場、延べ614名の参加により開催された。最終日の会場であるアスカム体育館内は台風の影響もあり、蒸し暑く34℃を超えていたが、厳しい条件の中で熱戦が繰り広げられた。

男子シングルス 流れをつかんだ鹿島健士朗(名古屋高)が優勝！

決勝戦の相手は酒井翔規(名古屋鉄道)。「1ゲーム取られても立て直せたのがよかった。いい流れが作れた」と鹿島。この日の初戦(ベスト8決め)も1ゲーム目を取られてから流れを変えている。試合直後でも鹿島の表情には余裕が見えた。実は準決勝は鹿島の相手は棄権なのに対し、酒井はファイナルを制する激戦だった。好条件で決勝に挑めたことも鹿島に味方したかもしれない。「高校の新人戦(9月中旬)に向けたイメージができた。団体で東海大会を目指して頑張りたい」と今後の目標を語ってくれた。今後も一皮剥けた強さを見せてくれるだろう。



鹿島健士朗選手

男子ダブルス 大学生同士の戦い、激戦を制したのは山口慎人(中京大)・福原聡(日本福祉大)組 ●●●

「一緒にエントリーして、決勝で当たろう」と約束したという決勝の相手は井原弘貴(愛知学院大)・池田大晟(日本福祉大)組。高校の後輩、同じ大学でもありよく知った相手だったそうで、一進一退の戦いは22-20,16-21,22-20という大接戦。ファイナルは18-20から4連続ポイント取る大逆転。長いラリーをお互いが楽しんでいる、勝因は「2人でダブルスが組み立てられたこと、声を掛け合っていたこと」だったようだ。なんとこのペア、準決勝もファイナルの最後で連続ポイントを取り、逆転で決勝に進出している。「これからは気を緩めずに来年のインカレをお互い切磋琢磨して頑張りたい」と語ってくれた。



(左) 福原聡選手 (右) 山口慎人選手

女子シングルス 川瀬美優(豊田合成)が圧勝。シングルスとダブルス二冠 ●●●●



川瀬美優選手

1ゲームも落とすことなく勝ち上がった川瀬は決勝も21-7,21-9と圧勝。試合直後のインタビューでは「暑い中選手、コーチ、監督が応援に来てくれて頑張れたから良かった」と感謝の言葉が第一声で出てきた。「とにかく暑かったのでキツかった。先週はクーラーがついていて切ってもらったが、やはりクーラーあった方が…(笑)」という川瀬は後述にもあるがこの日ダブルスも優勝。当然試合数も多く、過酷な気候条件をも勝ち抜いたのだった。「愛知県リーグ、全日本実業団(来年)もあるので仕事との両立を頑張りたい」と次への意気込みを語ってくれた。

女子ダブルス 川瀬美優・大迫未来組(豊田合成)がラリーの接戦を制す ●●●●●

川瀬はシングルス決勝の15分後にダブルス決勝。仙石彩音・渡辺茉央組(南山大)との長いラリーの接戦を21-19,21-18で勝ち取った。「優勝が目標だったが、大迫の怪我をカバーしきれず頼りっぱなしで…」と川瀬。大迫も「今回シングルスを棄権してしまったのでこの先怪我をしないようにしていきたい」と語ってくれ「県総合は決勝リーグに行ったが、1つも勝てなかった。次の団体、個人は1つでも多く勝ちたい」と次の目標も明確だった。

猛暑での連戦で選手達も相当疲労が溜まっていたはず。この経験からさらに成長・活躍してくれることを期待する。



(広報委員 上出美佳)

(左) 川瀬美優選手 (右) 大迫未来選手

大府 JR 大府駅西口徒歩 8 分	バドミントンプロショップ リーダーズ グループ SINCE 1979	名古屋一社 地下鉄一社南出口より徒歩 2 分
はいーあっぷ 代表 中口直人 TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594	(有)リーダーズ 代表取締役 菱田修光 TEL・FAX(052)703-2767	



令和元年度愛知県高等学校新人体育大会 バドミントン競技

11月上旬に行われた新人戦県大会は、男子団体を名経大市邨が愛工大名電を3-0で破り快勝。(河辺・志賀21-10,19-21,21-10稲垣・増本、阿保・上田21-10,21-9奥村・中村、太田21-11,21-9足達)。「ノックとか基礎的なことを頑張り、実践で生かせるようにしてきた。全国優勝目指します」と河辺。

女子団体は岡崎城西が第1ダブルスを落としたものの3-1で勝利。(久湊・石田13-21,15-21中山・岩野、山本・山本21-15,21-8成清・熊谷、梅田21-13,21-15前田、久湊21-12,21-15中山)。「総体に出た翌日からこの県大会を意識して皆で全力で練習してきたので、結果が出て良かった。選抜も総体も優勝目指します」と山本鈴。

両校の全国での活躍が楽しみだ。期待しよう。(広報委員 上田美佳)

	男子団体	男子複	男子単	女子団体	女子複	女子単
優 勝	名経大市邨	河辺・志賀 (市邨)	太田 (市邨)	岡崎城西	中山・岩野 (市邨)	梅田 (城西)
準優勝	愛工大名電	阿保・上田 (市邨)	志賀 (市邨)	名経大市邨	山本・山本 (城西)	久湊 (城西)
第3位	岡崎城西	稲垣・増本 (名電)	阿保 (市邨)	星 城	因藤・石田 (城西)	中山 (市邨)



名経大市邨男子



岡崎城西女子

第43回愛知県中学生新人バドミントン大会

11月2、3日にメディアス体育館おおぶ(旧大府市民体育館)で開催された今大会は、2年生中心の新チームとなってから初の県大会であり、各学校から単・複それぞれ4つを上限として出場できます。

初日はダブルスの全試合とシングルの1回戦、2日目はシングルの残り全試合が行われました。初めて試合に出場した選手もいるようで、少し緊張感のある雰囲気が漂っているように感じられました。しかし、どの選手も試合が始まれば大きな声を出して相手に気持ちをぶつけ、シャトルを一生懸命追いかけている様子が見られました。白熱しつつも清々しさが感じられる、とても良い2日間の大会であったと思います。

今大会の優勝者は以下の通りですが、今大会上位の選手は3月に行われる全日本中学生バドミントン選手権大会の愛知県代表選手候補となります。各選手の今後の活躍と成長に期待します。

(広報委員 石井久伸)

	男子	女子
シングルス 優勝者	寺西情 (市邨)	向井温菜 (市邨)
ダブルス 優勝者	寺西情・鈴川拓実 (市邨)	中上未来・前田流音 (市邨)



優勝者の皆さん

第6回愛知県小学生バドミントンチャレンジ大会

9月28日に「メディアス体育館おおぶ」で行われましたこの大会、県の上位選手が参加しないとあって、普段以上に選手たちが闘志を燃やし熱気ある試合となりました。大会当日は運動会の学校も多数あり、参加者が少ないかも…と心配もされましたが、319人と多くの選手が参加していました。

チャレンジ大会は普段の大会と違い、リーグ戦を行うため、多く試合ができるのも選手が頑張る理由の一つかもしれません。リーグを抜けた選手たちがトーナメント戦を行います。県の代表選手にも引けを取らない試合を行い、見ているこちらまでもが手に汗握り熱い応援をしてしまいました。上位に入賞した選手たちは口々に「今度は自分が県の代表選手になる」と熱い思いを語ってくれました。6年生の選手は中学の大会で、5年生以下の選手たちは来年度の県シングルス・ダブルスの試合を楽しみにしたいです。

(広報委員 鈴木由紀江)



チャレンジ大会入賞者男子



チャレンジ大会入賞者女子

愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル 2019

令和元年10月20日(日)に名古屋市中スポーツセンターでこの大会の年齢別バドミントン県大会が開催されました。

30代女子複、40代男子複、50代混合複の市町村対抗年齢別混合団体戦としてトーナメント形式で行われ、名古屋、刈谷、稲沢、一宮、常滑、武豊の6チーム47名の参加で行われました。

今大会で最後となるこの大会は、刈谷市が名古屋市との大接戦を制し、二連覇を達成して幕を閉じることとなりました。

(広報委員 鈴木勝男)



刈谷市の選手の皆さん

第74回国民体育大会 … 成年男子がベスト4に！

大会結果

令和元年9月28日(土)から10月3日(木)まで茨城県石岡市で開催された「いきいき茨城ゆめ国体2019」にて成年男子チームが第4位の好成績を納めて大会を終える事が出来ました。

成年男子			
1回戦	愛知県	2-1	北海道
準々決勝	愛知県	2-0	宮城県
準決勝	愛知県	0-2	熊本県

成年女子			
1回戦	愛知県	1-2	千葉県

少年男子			
1回戦	愛知県	2-0	群馬県
2回戦	愛知県	0-2	宮崎県

少年女子			
1回戦	愛知県	0-2	茨城県



宮城県を破りベスト4を決める

国体強化活動の取り組み

2019年の全体事業計画にある「オール愛知の精神のもと、国民体育大会での入賞と第1種大会でのメダルの獲得を目指す」を念頭におき、国内でも有数の強豪実業団チームの中から最強の選手団を輩出するため、S/Jリーグ監督と緊密に連携を図り「愛知のために」を合言葉に国体予選会の見直しなど様々な改革を積み重ねてきました。

今後の活動について

ジュニア選手に対しての小中高一貫事業(オール愛知強化練習)においても、国体代表選手によるハイレベルな指導を仰ぎ、オール愛知の精神のもと未来の愛知代表として国体での活躍を意識した強化体制を整えていきたいと思っております。

(選手強化委員長 馬場直樹)



茨城国体 愛知県選手団

テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ

NONAKA

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。

YONEX

JTB バドミントンS/リーグ2019刈谷大会

刈谷市体育協会創立60周年を記念し、今年も令和元年11月10日(日)にウイングアリーナ刈谷にて刈谷大会が開催された。東京オリンピックを来年に控え、メダル獲得が期待される種目として人気が益々高まっているバドミントンを観戦しようというファンが詰めかけ、入場チケットはほぼ完売となり、約2,500名の熱い声援の中、試合が始まった。

男子はJブロックに所属する地元JTEKTが出場。開幕戦を惜敗しており、2戦目での初勝利を目指し、日本代表選手を多数擁する強豪NTT東日本と対戦した。第1ダブルスは新進気鋭の市川和洋・馬屋原大樹組が日本代表(B代表)の斎藤太一・古賀輝組に挑んだが、安定したディフェンスを崩すことができず、最後の追い上げも届かず敗退。続くシングルで出場した松村健太は9月の全日本社会人大会で優勝した古賀穂に対し積極的な攻撃が功を奏し第1ゲームを奪取、勝利なかと期待させたが、2、3ゲームで正確なストロークを誇る相手に逆転を許し敗退。この時点でチームの勝利は消えた。最後の第2ダブルス小林晃・宮嶋航太郎組もファイナルゲームに持ちこむ接戦となったが勝ちきれず、トータル0-3で敗れる結果となった。

女子はACT SAIKYOが山陰合同銀行を順当に3-0で勝利したが、シングルで日本代表(B代表)同士の大接戦の戦いがあり、大変見ごたえのある試合が展開された。

S/Jリーグ2019は男子で愛知県から東海興業も参戦しており、今後の両チームの健闘が期待される。

(実業団連盟 理事長 井上龍)

第72回中部日本バドミントン大会を刈谷市・豊田市で開催

令和元年11月16日(土)、17日(日)の両日、中部9県から480名の選手が愛知に集い、17種目で熱戦を繰り広げた。9年ぶりの本大会は例年中・高校生の参加者が多い大会で、この為刈谷市体育館が少年男子単複、残り種目全試合をトヨタスポーツセンターで実施した。

愛知県勢は多くの種目で活躍、一般は男子単でベスト4を独占、また女子単や男女複では共に優勝、準優勝、3位となり大活躍でした。中でも関矢夕芽選手は単複優勝と一際輝かしい成績を上げた。

少年の部では男子複で名経大市邨の二組がいずれも準決勝で北陸勢と対戦、相手のスマッシュを粘り強くレシーブするラリーで一時期リードする場面もあり、勝敗は最後まで見えなかったが、勝ち切れず共に3位に留まった。次は優勝を期待したい。

愛知県勢の入賞者は以下の通りです。(広報委員 上出美佳)



会長挨拶



大会会場全景

	優勝	準優勝	3位
一般男子シングルス	菊池拓也	北里元輝	成田大誠 大谷啓斗
一般女子シングルス	関矢夕芽	蘭沙也可	犬飼萌々香
40歳以上男子シングルス	遠藤博史	永田一郎	
少年男子ダブルス			阿保龍斗・上田康誠 志賀伊吹・河辺颯真
一般男子ダブルス	海老澤年幾・谷口涼真	谷村高宏・森 山 翼	竹岡房樹・大谷啓斗
一般女子ダブルス	関矢夕芽・清田芽生	中村朱里・中島萌絵	梶田知沙・遠藤歩美
40歳以上男子ダブルス	吉川功次郎・伊藤峰人		
40歳以上女子ダブルス		佐藤実季・田中美月	
50歳以上男子ダブルス	廣 田 一・杉 山 誓 英		吉田好克・磯本朝雄
50歳以上女子ダブルス	市野寿子・小池由紀子		渡辺愛・加納千都世
60歳以上女子ダブルス			田中京子・戸田真澄
40歳以上混合ダブルス		梶野博規・梶 野 泉	

★愛知のホープ★

ひびみなと なな

久湊菜々(岡崎城西高校1年)



久湊選手は、7歳より兄の影響でバドミントンを始めました。小学生の頃から全国大会でダブルス優勝、中学生ではシングルスで準優勝するなど、全国のトップに君臨しています。普段は、明るく元気でまじめな性格ですが、時にはお茶目な一面も見せます。バドミントンのみに限らず、勉学でもジュニアナショナルの合宿等で欠席が多い中、授業の抜けたところを自分でコツコツ勉強し、定期考査では常にクラス上位の成績です。6月にあった体育祭では、クラス対抗とクラブ対抗の両方のリレーで代表になり活躍しました。何事にも一生懸命に取り組み、文武両道を体現した学校生活を送っています。中学生まではクラブチームを中心に練習してきましたが、高校になりその拠点が学校の部活動になり、また週に2回実業団チームの練習にも参加するなど、環境が大きく変わりました。その中でも、8月に熊本で開催されたインターハイでは、持ち前のスピードとテンポの良い攻めを活かし、格上の選手を倒して1年生で唯一のベスト8入りを果たしました。しかし、その後臨んだ全日本ジュニアは初戦敗退。最近の試合でもなかなか思うような結果を出せずにいます。現在は、この悔しさを糧に、まずは1月の東海選抜を勝ち、3月の全国選抜でベスト4以上を目指し練習に励んでいます。

今後の課題は、持ち前のスピードを落とさず、ショットのコントロールや精度を上げ、一球一球インパクトをつけることです。高校では、中学校で果たすことの出来なかった全国制覇を成し遂げ、将来は世界のひのき舞台上で活躍する選手になれるよう、日々成長していただきたいと思います。応援よろしくお願いします。(岡崎城西高校顧問 藤井珠生)

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

春日井市立南城中学校

を紹介します。

春日井市立南城中学校バドミントン部は男子24名、女子26名の部員と顧問3名、外部指導者2名の総勢55名。平日は授業後から1時間半、土日は3時間の練習をしています。部員数も多く体育館を使える日も限られているため、中での練習と外での練習を分けて活動をしています。南城中学校の選手たちは文武両道を活動理念とし、勉学と部活動の両立を目指しつつ、それぞれが目標を持ち、競い合える良き仲間であると同時に良きライバルとして切磋琢磨しています。11月の県新人戦では、女子ダブルスで山本・永平ペアがベスト8に入ることができました。しかし顧問の辰田先生は、「ファイナルゲームの競り合った試合の中で、最後に勝ち切ることができないメンタルの弱さが課題です。来年は春日井市で全国中学校総体も開催されるため、開催地の代表として全国の強豪にも勝ち切れるような精神的な強さと自信を身に付けられるように、現在は県内外で他校との練習会への参加や、部活動以外での活動をして試合経験を積んでいます。そして今後に於いても、まずは県大会の入賞を目標にしつつ、大会一つ一つの結果にこだわっていきたい。」と話します。また部長よりみなさんに向けて一言。「春日井市だけでなく、愛知県のみなさんから応援していただけるチームを目指し、日々努力しています。応援よろしくお願いします。」



春日井市から全国で活躍できる選手が出てきてくれることに期待しています。南城中学校の選手と指導者の皆さん、これからも全国大会に向けて頑張ってください。(広報委員 石井久伸)

連盟NEWS

レディースバドミントン連盟

◆第46回愛知県レディースバドミントン大会(団体戦)

日時:令和元年10月1日(火)～3日(木)・8日(火)～10日(木)・15日(火)・23日(水)・28日(月)

会場:日本ガイシスポーツプラザ第2競技場に253チーム、のべ1,580名が参加して行われました。

学生バドミントン連盟

◆第41回東海学生新人バドミントン選手権大会

令和元年9月21・22・28・29日の4日間にかけて、南山大学・愛知淑徳大学にて開催されました。

男子シングルスでは、約400名の参加者の中から、長年実績のある小野田泰地(静岡大学)選手が勝ち上がり見事優勝しました。圧倒的な強さで優勝した小野田選手は「今回優勝することができてうれしいです。これからも、試合で勝てるように、部員や携わっていただいている方々に感謝しながら、練習に取り組んでいきたいです。」と試合後に語りました。

令和2年10月に愛知県でインカレが行われます。愛知県で行われるインカレに東海地区から多くの選手が出場できるように、より一層練習に励み、結果を残すことを期待します。

(広報委員 和田一輝)

高等学校体育連盟

◆第38回全日本ジュニアバドミントン選手権大会

新人戦の地区予選が各地で開催される中、9月20日～23日に新潟市で開催された。本県高体連から女子単に中山(名経大市邨)、久湊(岡崎城西)の2名、男子単に阿保(市邨)太田(市邨)、男子複に河辺・志賀組(市邨)、そして女子複に中山・岩野組(市邨)が参加した。どの選手も他県の強豪相手に気持ちの入った熱戦を繰り広げた。その中でも準々決勝まで危なげなく勝ち進んだ中山・岩野組が準決勝



全国3位 中山・岩野組

で惜しくも敗れたものの、全国3位という堂々たる結果を残した。(広報委員 大村悠介)

中小学校体育連盟

11月の県新人戦の結果、愛知県上位の選手が決定しました。その中から男女5名ずつが3月に東京で開催される全日本中学生バドミントン選手権大会の愛知県代表メンバーが選出され、本番に向けて県外の代表選手との練習試合や実業団との強化練習会が行われる予定となっています。昨年度よりも良い結果を残すことができよう、選手をサポートできる体制と整えていきたいと思います。また、来年度は全国中学校総体が愛知で開催されます。愛知から全国で上位を目指せる選手が1人でも多く育つように愛知県中体連として環境を整え、練習の機会を設けていきたいと考えています。

(広報委員 石井久伸)

小学生連盟

◆第31回東海小学生バドミントン選手権(個人戦)

令和元年10月6日に岐阜県メモリアルセンター「で愛ドーム・ふれ愛ドーム」で同大会が行われ、愛知県をはじめ岐阜県・三重県・静岡県のシングルス・ダブルスの代表選手たちが、12月に徳島県鳴門市で行われる第28回全国小学生バドミントン選手権に出場するための試合が行われました。

各学年、3位までの選手が全国大会に出場できる中、愛知県はシングルス12名・ダブルス12組、総勢36名の選手が代表権を獲得できました。12月までは全国大会に向け毎月行われている強化合宿で全国大会優勝を目指して頑張っています。(小学生連盟 鈴木由紀江)



東海大会入賞者の皆さん

市町村だより

春日井市バドミントン連盟

◆市小中学生合同強化練習会

日本のトップ選手を招いて行う!!

9月7日(土)市総合体育館にてジェイテクト(S/Jリーグ1部)の宮嶋・西澤・小林選手を講師に招き小中学生合同強化練習会を行う。日本のトップ選手の指導に参加した小中学生は熱く夢中になって指導を受けた。

■春日井市バドミントン連盟のホームページ■

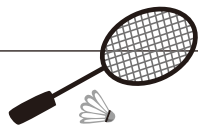
<http://www.kasugaibadminton.com>

審判連載

「パラ・バドミントンについて」

水野 慶介

今年の東京オリンピックに向けて機運が高まっていますが、それと合わせてパラリンピックの選手の紹介が各箇所で行われています。バドミントンに関しても、有力候補選手がCMに登場したりと盛り上がっています。ところで、みなさんは競技規則にパラ・バドミントンに関する追加規則が書かれている事をご存知でしょうか？パラ・バドミントン固有の規則等が記載されており、付加的な用器具に関する細かな規定がなされています。特別な状況下で認められているレフェリーからのプレーの中断の指示も用器具の修理をする時に認められています。これを理解すると車椅子バドミントン等のパラ・バドミントンを楽しめると思います。良かったらご一読ください。



知多市体育協会バドミントン連盟

◆第32回知多市ジュニアバドミントン大会

令和元年10月20日(日)知多中学校体育館において、ジュニアの大会を行いました。

熱戦結果は以下のとおりです。

	優 勝
6年生以下ダブルス	賢生悠介(知多J)、岩本陸志(新知J)
5年生以下ダブルス	中井琴音、平松花蓮(知多J)
4年生以下ダブルス	小田凜太郎、斎藤直樹(知多J)
6年以下男子シングルス	賢生悠介(知多J)
6年以下女子シングルス	江野本愛実(旭北J)
5年以下男子シングルス	黒原洋彦(知多J)
5年以下女子シングルス	中井琴音(知多J)
4年以下男子シングルス	小田凜太郎(知多J)
4年以下女子シングルス	加藤彩愛(新知J)

編集後記

11月にS/Jリーグ刈谷大会と中部日本選手権大会の二つの大きな大会があったため、私はあまり多くは手伝えなかったのですが、協会全体では大変でした。それでも観戦にいらした方を始め多くの方々に楽しんでいただけたと思います。桃田選手が来られなかったのはちょっと残念でしたけどね。

今、国体を始め色んな世代で、本県の選手の全国大会での入賞が増えてきています。近いうちに全国優勝、続いてオリンピック選手が生まれることがホント楽しみです。(広報副委員長 天竺良彦)

連絡 投稿

広報誌・公式サイト管理・運営をお手伝い頂ける方を募集しています。

〒452-0008 清須市西枇杷島町地領1-9-9

広報委員長 岩田 崇

TEL (052) 501-2602

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス

<http://www.badminton-aichi.com/>

Eメールアドレス

info@badminton-aichi.com

西三河のバドミントン専門店

モリタスポーツ

豊田市山之手3丁目100番地

☎ <0565> 29-0055

勝つための本物

GOSEN®

www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7115 FAX.06-6538-8238